

2017年上期の回顧と 下期の展望

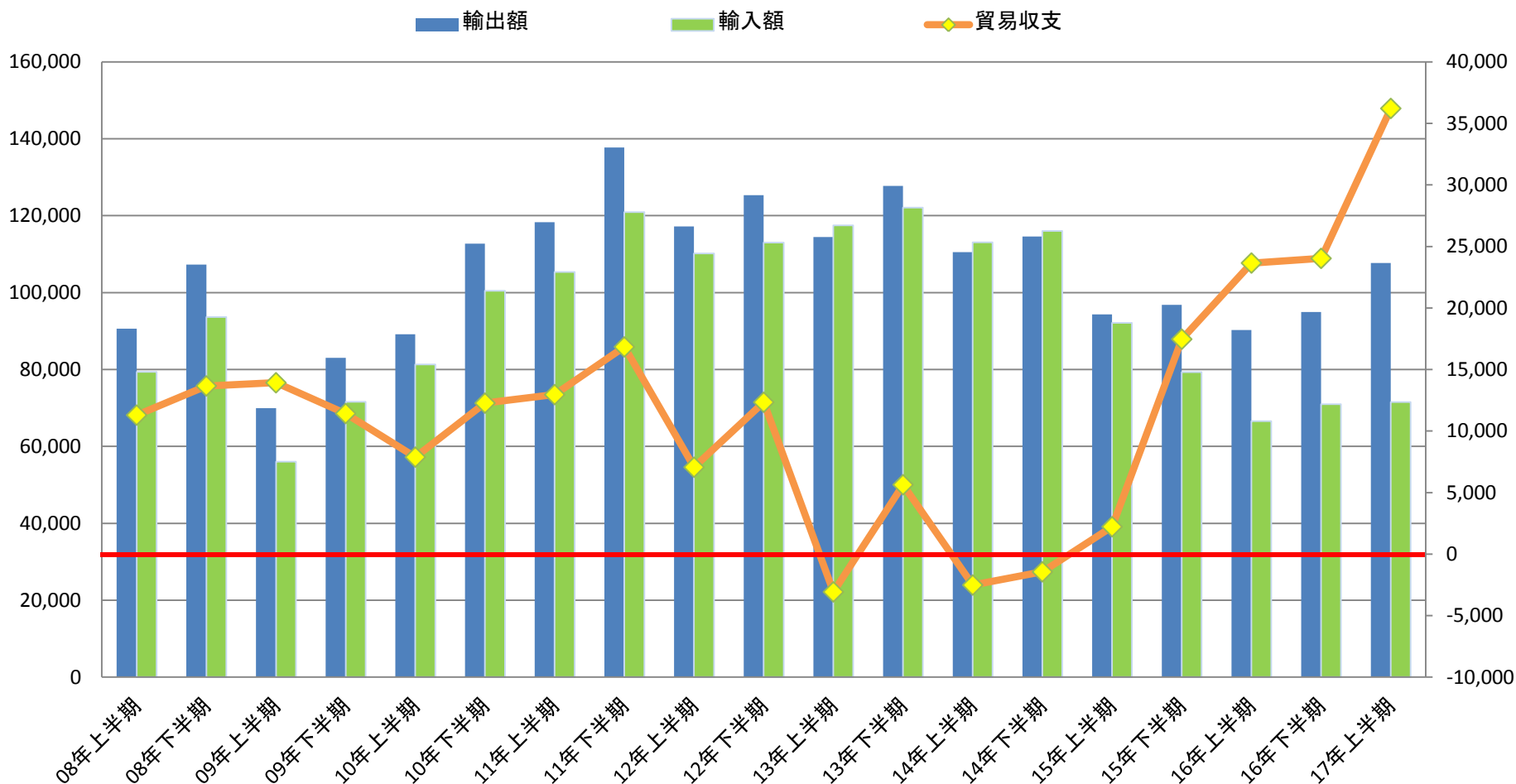
2017年8月24日
ブラジル日本商工会議所
貿易部会

1. 総括

半期ごとの輸出入額の推移

<輸出入額>

<貿易収支>



(単位:百万ドル)

為替レート 2016年 R\$3.49/US\$

(期中平均) 2017年上半期 R\$3.16/US\$

<出所> 開発商工省貿易局 (SECEX)、ブラジル中央銀行

2. 輸出 ～主要商品別～

金額: 単位百万ドル

数量: 単位千トン(*乗用車のみ単位は千台)

	2016年上半期			2017年上半期			増減率		参考» 2016年通期	
	金額	金額 構成比	数量	金額	金額 構成比	数量	金額 増減率	数量 増減率	金額	数量
一次産品	41,231	45.7%	272,083	52,457	48.7%	282,082	27.2%	3.7%	79,159	535,392
大豆	13,892	15.4%	38,568	16,668	15.5%	43,989	20.0%	14.1%	19,331	51,582
鉄鉱石	5,503	6.1%	177,313	10,056	9.3%	183,992	82.7%	3.8%	13,289	373,963
原油	4,035	4.5%	19,740	9,208	8.5%	28,684	128.2%	45.3%	10,074	41,624
鶏肉	2,955	3.3%	2,060	3,171	2.9%	1,924	7.3%	-6.6%	5,946	3,959
半製品	12,806	14.2%	25,139	15,052	14.0%	26,127	17.5%	3.9%	27,963	53,794
粗糖	3,149	2.8%	10,264	4,294	3.5%	10,211	36.4%	-0.5%	8,282	23,661
化学木材パルプ ^o	2,745	2.7%	6,642	3,012	3.0%	7,100	9.7%	6.9%	2,745	13,520
鉄鋼半製品	1,157	1.6%	4,205	1,974	1.3%	4,787	70.6%	13.8%	5,569	8,446
合金	1,043	1.3%	260	1,150	1.2%	239	10.3%	-8.3%	2,103	495
工業製品	34,211	37.9%	24,764	37,664	37.9%	25,574	10.1%	3.3%	73,921	50,497
乗用車	2,134	1.7%	* 190	3,260	2.4%	* 301	52.8%	58.4%	4,671	* 412
航空機	1,856	1.7%	1	1,706	2.1%	1	-8.1%	-5.4%	4,291	4
貨物車	894	1.4%	104	1,423	1.3%	160	59.2%	53.2%	2,337	9,516
その他	2,002	2.2%	3,015	2,537	-0.6%	2,919	26.7%	-3.2%	4,193	5,635
輸出総額	90,251	100%	325,001	107,710	100%	336,702	19.3%	3.6%	185,235	645,318

<出所> 開発商工省貿易局(SECEX)、ANFAVEA

2. 輸出 ～主要国別～

輸出相手先 上位10カ国

(単位:百万ドル)

国名	2016年 上期	2017年上期		増減率	《参考》 2016年 通期
		金額	構成比		
中国	19,770	26,953	21.7%	36.3%	35,134
米国	10,671	12,918	11.3%	21.1%	23,156
アルゼンチン	6,529	8,301	6.9%	27.1%	13,418
オランダ	4,731	4,689	5.2%	-0.9%	10,323
チリ	1,877	2,482	2.6%	32.2%	4,081
インド	1,415	2,398	2.5%	69.4%	3,161
ドイツ	2,339	2,362	2.0%	1.0%	4,861
日本	2,373	2,300	2.0%	-3.1%	4,604
メキシコ	1,844	2,192	1.8%	18.9%	3,813
スペイン	1,342	1,855	1.6%	38.3%	2,604
その他	37,359	41,261	42.4%	10.4%	80,080
輸出総額	90,251	107,710	100.0%	19.3%	185,235

<出所>

開発商工省貿易局(SECEX)

3. 輸入 ～主要商品別～

金額: 単位百万ドル

数量: 単位千トン

	2016年上期			2017年上期			増減率		《参考》 2016年通期	
	金額	金額 構成比	数量	金額	金額 構成比	数量	金額 増減率	数量 増減率	金額	数量
一次産品	6,906	11.3%	30,392	8,064	10.4%	29,271	16.8%	-3.7%	14,276	61,315
原油	1,660	1.9%	5,414	1,328	2.5%	3,397	-20.0%	-37.3%	2,899	8,867
魚(生・冷蔵・冷凍)	459	0.8%	170	586	0.7%	183	27.5%	8.2%	737	178
小麦	536	0.8%	2,758	568	0.8%	3,086	5.9%	11.9%	1,335	6,866
天然ガス	703	0.8%	4,145	541	1.1%	2,994	-23.1%	-27.8%	1,278	8,113
半製品	3,457	4.2%	4,209	3,035	5.2%	4,843	-12.2%	15.1%	5,640	10,754
銅板	631	0.7%	103	508	0.9%	84	-19.6%	-18.2%	810	168
合成ゴム	307	0.4%	134	274	0.5%	141	-10.6%	4.7%	444	250
工業製品	56,954	84.5%	32,122	60,395	85.5%	38,413	6.0%	19.6%	117,636	66,345
送受信機	2,522	4.7%	47	3,383	3.8%	66	34.1%	39.9%	1,408	71
医薬品	2,938	4.3%	18	3,052	4.4%	16	3.9%	-8.6%	5,794	36
自動車部品	2,250	3.5%	286	2,515	3.4%	299	11.8%	4.4%	4,852	612
燃料油	1,158	3.3%	2,920	2,351	1.7%	4,833	103.0%	65.5%	2,912	6,812
輸入総額	66,600	100%	67,357	71,494	100%	73,108	7.3%	8.5%	137,552	138,414

<出所> 開発商工省貿易局(SECEX)、ANFAVEA

3. 輸入 ～主要国別～

輸入相手先 上位10カ国

(単位:百万ドル)

国名	2016年 上期	2017年上期		増減率	《参考》 2016年 通期
		金額	構成比		
米国	11,186	12,501	17.5%	11.7%	23,803
中国	11,213	12,262	17.2%	9.4%	23,364
アルゼンチン	4,225	4,598	6.4%	8.8%	9,084
ドイツ	4,660	4,358	6.1%	-6.5%	9,131
韓国	2,998	2,629	3.7%	-12.3%	5,449
メキシコ	1,575	1,885	2.6%	19.7%	3,528
イタリア	1,819	1,830	2.6%	0.6%	3,703
日本	1,693	1,734	2.4%	2.4%	3,566
チリ	1,478	1,727	2.4%	16.9%	2,882
フランス	1,821	1,716	2.4%	-5.8%	3,679
その他	23,933	26,256	36.7%	9.7%	49,364
輸入総額	66,600	71,494	100%	7.3%	137,552

<出所>
開発商工省貿易局(SECEX)

4. 対日貿易

輸出

(単位:百万ドル)

商品名	2016年 上期	2017年上期		伸び率	《参考》 2016年 通期
		金額	構成比		
鉄鉱石	491	740	32.1%	50.7%	1,073
鶏肉	382	420	18.3%	10.0%	720
コーヒー豆	190	172	7.5%	-9.4%	413
アルミニウム	114	134	5.8%	17.5%	246
合金	122	133	5.8%	9.0%	240
大豆	78	96	4.2%	23.4%	172
化学木材パルプ	55	63	2.8%	15.4%	113
航空機	124	63	2.7%	-49.0%	219
冷凍オレンジ	60	40	1.8%	-33.2%	96
木材チップ	36	36	1.6%	-0.4%	-
その他	721	403	17.5%	-44.2%	1,312
合計	2,373	2,300	100%	-3.1%	4,604

輸入

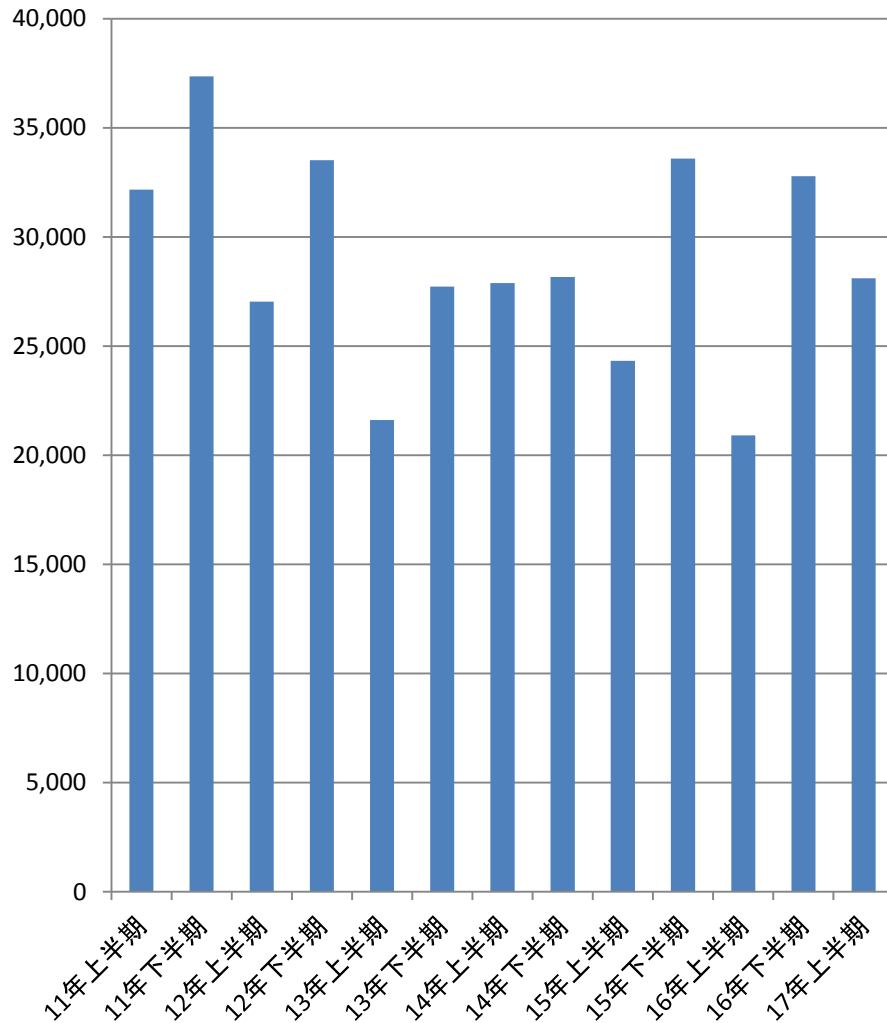
(単位:百万ドル)

商品名	2016年 上期	2017年上期		伸び率	《参考》 2016年 通期
		金額	構成比		
その他工業製品	289	287	16.5%	-0.7%	208
自動車・トラクター部品	200	229	13.2%	14.8%	454
乗用車	70	83	4.8%	18.3%	130
ベアリング・歯車及び それら部品	67	77	4.4%	15.2%	142
測定機器等	79	74	4.3%	-6.6%	157
自動車エンジン部品	78	68	3.9%	-12.5%	128
半導体	32	53	3.1%	65.9%	-
複素環式化合物	38	42	2.4%	10.8%	104
窒素化合物	40	36	2.1%	-8.6%	90
スイッチ、電源用部品	37	35	2.0%	-5.4%	-
その他	764	750	43.3%	-1.8%	2,153
合計	1,693	1,734	100%	2.4%	3,566

5. 対内直接投資 ～推移・国別～

(単位:百万ドル)

対内直接投資推移



国別対内直接投資

国	2016年上期	2017年上期		伸び率	参考» 2016年 通期
	金額	金額	構成比		金額
米国	2,908	7,952	28.3%	173.5%	6,544
オランダ	3,690	4,698	16.7%	27.3%	10,524
英領ヴァージン諸島	791	4,286	15.3%	441.8%	1,637
ルクセンブルク	1,941	1,888	6.7%	-2.8%	7,395
フランス	1,101	1,449	5.2%	31.7%	2,778
スペイン	1,580	1,196	4.3%	-24.3%	3,489
イタリア	898	1,100	3.9%	22.5%	2,835
チリ	454	795	2.8%	75.1%	846
ドイツ	1,228	679	2.4%	-44.7%	1,826
スイス	264	653	2.3%	147.0%	965
英国	791	587	2.1%	-25.8%	3,596
日本	921	339	1.2%	-63.2%	1,412
その他	5,251	2,818	10.0%	-46.3%	11,237
合計	20,898	28,100	100%	34.5%	53,673

5. 対内直接投資 ～主要業種別～

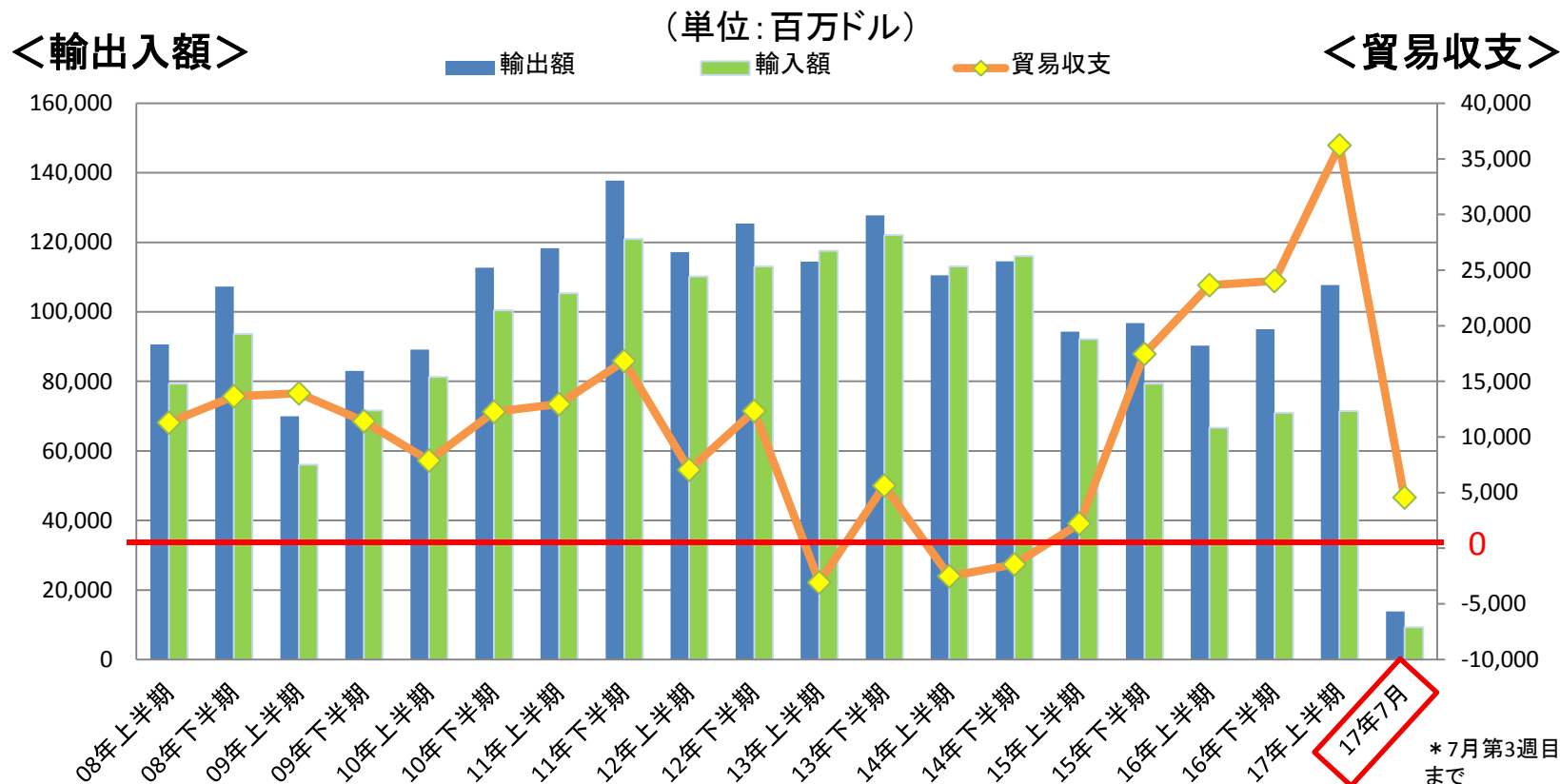
(単位:百万ドル)

	2016年上期		2017年上期		伸び率	《参考》 2016年通期
	金額	構成比	金額	構成比		
一次産品(農業・畜産・鉱業・その他)	3,140	15.0%	1,458	5.2%	-53.6%	8,696
石油・天然ガス採掘	1,973	9.4%	684	2.4%	-65.3%	4,257
金属鉱物採掘業	485	2.3%	340	1.2%	-30.0%	2,463
工業(その他も含む)	7,992	38.2%	7,480	26.6%	-6.4%	20,138
自動車・トレーラー・車体	2,260	10.8%	1,642	5.8%	-27.3%	6,571
化学製品	749	3.6%	1,467	5.2%	95.9%	2,165
基礎冶金業(注)	631	3.0%	905	3.2%	43.4%	1,437
食品	384	1.8%	683	2.4%	77.9%	1,275
機械装置	574	2.7%	424	1.5%	-26.2%	1,558
サービス業(その他も含む)	9,658	46.2%	19,079	67.9%	97.5%	24,647
電気・ガス	545	2.6%	6,042	21.5%	1008.3%	2,962
運送業	106	0.5%	3,922	14.0%	3606.9%	768
商業(自動車除く)	2,265	10.8%	3,191	11.4%	40.9%	5,696
水道	184	0.9%	927	3.3%	402.6%	184
不動産業	921	4.4%	591	2.1%	-35.9%	1,939
金融・同補助サービス	770	3.7%	542	1.9%	-29.6%	2,043
合計	20,898	100.0%	28,100	100.0%	34.5%	53,673

(注)製鉄業を含む

<出所>ブラジル中央銀行

6. 直近の貿易収支傾向



＜出所＞ 開発商工省貿易局 (SECEX)

- ・2017年度上期の貿易収支は、362億ドルと昨年同期比+126億ドルと大幅に貿易黒字増加。輸入額も増加しているが特に輸出額の増加が大きい。
- ・対内投資についても、米国を中心として281億ドルと昨年同期比+72億ドル。
- ・対日は輸入はわずかに増加したが、輸出・投資は引き続き減少。
(輸出▲3%、輸入+2%、対内投資▲63%)

7. まとめ 『回復途上のブラジル経済ーいま打つべき戦略は』

- ・縮小均衡とならぬよう足元固めを含めた体制をきちんと維持すること。
- ・日本は、悪くなると早期に撤退を決定する傾向にあり、底で買いに来る中国・欧米と戦略が逆となる。中長期視点より投資・参入を検討する。
- ・成長分野や景気の変動を受けにくいビジネス分野に対して積極的に投資をする。
- ・このような状況だからこそ伯開発銀行や日本の制度金融など長期融資制度・調達を再検討ーブラジル側の雇用創出・産業育成の切り口も肝要。
- ・総論でなく、具体的かつブラジルならではの個別案件を提案する。
- ・汎用品の競争ではなく、ブラジル国内での高機能や付加価値製品の市場開拓。
- ・ブラジル現地制度の経験蓄積と信頼できる現地パートナーの開拓と関係構築。
- ・日本・伯双方への広報、宣伝活動を活性化、ブラジルの高い将来性をアピール。
(JAPAN HOUSE、日伯経済合同委員会、ブラジルアピール特集記事掲載など)
- ・他国商工会議所や他部会とも連携の上、貿易・投資促進上の課題を当局へ提言。